

奥秩父の原生林の新緑を見に行こう 飛龍山

実施日 2015年5月16日(土)~17日(日)

天候 5/16 曇り 5/17 晴れ

リーダー 白石 恵美子

参加者 島本陳重、山崎富美恵、白石恵美子、中村友子、宇野輝代、徳山敬子、小名秀鋭、佐藤政司、瀧澤きよの 計9名

費用 交通費 JR 1,274円(立川起算)
☎2,020円 宿泊費8,200円

計11,494円

タイム 5/16 奥多摩駅(8:35)丹波(9:30~9:37)サオラ峠(11:58~12:35)林道分岐(13:45~13:55)三条の湯(14:38) 泊

5/17 三条の湯(6:20)北天の丸(8:48~8:56)飛龍山(10:06~10:15)飛龍権現(10:33)禿岩(10:40~11:10)飛龍権現(11:15)前飛龍露岩の分岐(11:45)熊倉山(12:52~12:55)サオラ峠(13:25~13:30)丹波BS(14:55~15:45)

16日 午前中は予報が雨だったため、雨の中を歩く覚悟でいたが、幸いバスを降りた時にはすでに止んでいた。

車道を15分程歩き、サオラ峠の道標に従い、畑の端の熊除けのフェンスの中を進む。檜の植林帯の山道に入り、最初は中



程度の斜度の登りが続く。
珍しいギンランが1輪だけ可憐に咲

いている。赤いヤマツツジ、オオカメノキの白い花も美しい。



30分程歩くと九十九折れの急登になる。サオラ峠から暫くはなだらかな快適な道が続く。ブ

ナ、クヌギなどの巨樹が多く、目も覚めるような新緑に包まれ、癒される。

約1時間歩き、

沢を眼下に見ながら下る。所々くずれた箇所のあるトラバースになり、慎重に歩



く。そこを過ぎると、なだらかな道を、小屋はまだかまだかという感じで延々と歩く。カーブを曲がって、三条の湯の小屋がやっと見えた時は嬉しさのあまりつい叫んでしまったほどだ。

出発時は8名だったが、17日から合流できるかもしれないと言っていたS氏が急遽来られることになり、三条の湯で合流し9名になる。内7名は小屋泊、2名はテント泊である。因みにお祭りから林道を来たS氏によれば、沢と新緑を見ながらなので、楽しい歩きだったとのこと(次回、もしチャンスがあればだが、林道歩きもいいかもしれない)。

17日 小屋の裏手から最初の30分はいきなりの急登で、まだ目覚めていない身には応える。カンバ谷の源流を渡り、隣の孫左衛門尾根を越えて行く。北天の丸まで山腹のゆるやかな登りが続く。

北天のタルからの展望がいい。三ツ岩も臨める。奥秩父主脈縦走路を西に進む。ガレや岩場に掛かる幾つかの栈道があり、慎重に歩く。30分程歩くと飛龍権現の少し手前の右側に、気をつけていないと見落としてしまいそうな直登する踏跡があったので、その踏み跡を行き（実際リーダーは見落としたが後の人達が気づいてくれた）、10分程で飛龍山山頂に着く。

しかしそこは展望がないので、集合写真



だけ撮り、小さな祠のある飛龍権現に向かう。そこから西へ5分程のところ

に、奥秩父主脈の中でも屈指の展望台と言われる禿岩があり、そこで、素晴らしい眺めを楽しみながら昼食にする。

富士山が雲間から一瞬、顔を見せてくれた。イワカガミも見られた。シャクナゲの季節



にはまだ少し早いと思っていたが、飛龍権現の方へ戻る途中、鮮やかな濃いピンク



クの蕾や、ちょうど見頃の薄いピンクのシャクナゲが迎えてくれ、嬉しい想定外だった。

イワカガミ、イワウチワも所々に咲いて我々に元気を与えてくれた。

更に南へ向かって急坂を下ると、岩の多い前飛龍への登り返しにかかる。前飛龍の本峰は実は気づかずに通り過ぎてしまった(標識は岩岳尾根が分岐する一段下の岩峰にあるそうだ)。



前飛龍からは左のミサカ尾根を下る。しばらく急な岩場が続くがそこを過ぎると気持ちのいい尾根歩きになる。

樹林帯の中を小さなピークを幾つか越えて行く。

「ここかな?」と思うと空振り、なかなか熊倉山に着かない。急な登り返しの後、やっと熊倉山に着く。



木製の標識が地面に置いてなければ気づかないような小さな山頂だ。熊倉山から更になだらかな尾根歩きが続く。

新緑のトレイルに心がなごむ。

やがてサオラ峠に着く。そこからは、昨日登って来た急な山腹をヤマツツジを見ながらジグザグに下る。やがて檜の植林帯を下り、また畑を通り、国道を経て丹波のバス停に着く。☺を待ちながら冷たいビールで乾杯!

参加された皆さん、お疲れ様でした。

ありがとうございました。

(記&写真・白石 恵美子)

(写真提供・山崎 富美恵)

